

# 尾張菓子 きた川

業種	製造業	事業所所在地	愛知県名古屋市	資本金	
				従業員数	5名

 	被承継者（左）		
	北川 隆治	53歳	※承継時
承継者（右）			
	北川 華代	46歳	※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年12月		配偶者	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
和菓子の製造・販売		・新商品・新サービスの開発	今の商品とお客様を大切にしつつ、時代にマッチした新商品の開発とその普及。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 0年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
特になし。	特になし。	特になし。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	特になし。	特になし。

**これに一番苦労した！**

新たな年齢層にアプローチするためには、新商品の開発が欠かせない。新商品の開発に伴い、ブランドイメージの維持と周りの理解を得ることに大変な苦労をした。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
税理士・税理士法人	①事業承継補助金の内容説明 ②事業承継補助金に関する書類作成の支援 ③事業計画の立案 ④事業計画実行のために必要な業務の立案
いつから相談？	
承継実行の 0年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

### 初代の味に「女性目線」と「若者目線」を加えた新作和菓子の開発及び販路開拓

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
---------------	-------------

●昭和39年（1964年）10月より名古屋市北区に店舗を構え、地域のお客様に愛される和菓子の製造と販売を行っている。初代の北川玉一より、平成24年に被承継者である2代目の北川隆治が事業を引き継いだ。平成30年に被承継者が急逝したため、配偶者である承継者が3代目として事業を引き継いだ。これまで何度か製造に携わって来たが、主に販売業務を行っていたため、現在では息子の北川大輝とふたりで必死に取り組む先代からの「技術の承継」が最重要課題であった。

●そこで、創業当時から使用している店舗設備の改修に加えて、和菓子離れが急速に進む若年層にも魅力を感じてもらえる時代背景に合った新作和菓子の開発と、これまでほとんど行ってこなかったPR活動を行う計画を立てた。

●比較的年齢の高い方にしか需要がない、古臭いという「和菓子」のイメージを払拭するため、幅広い年齢層に受け入れられる美味しくて見た目もかわいらしい和菓子を開発。また、新たにホームページを作成したことで、実際に来店できなくてもいま店舗でどんな商品が並んでいるかを知っていただくことができ、お客様の口コミにより新聞やテレビの取材を受けることがあり、遠方からお越しいただくお客様も増え始めた。さらに、エアコン、冷蔵ショーケース、シャッターを新たに導入し、店舗設備の改修、改善をはかった。

●今後も、時代に合った商品開発を心がけ、インターネットや紙媒体の広報を効率的に行うことにより、「きた川」というブランドの認知度を高め、より多くの方に笑顔を届けられる和菓子店を目指す。







地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
若年層に直接訴求する和菓子が業界でも少ないため、新たな年齢層のお客様が来店することにより、地域経済の発展に寄与できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費</li> <li>設備費</li> <li>原材料費</li> <li>広報費</li> <li>外注費</li> </ul> 
	<b>経費の主な使い道</b> 人件費 設備費（エアコン、冷蔵ショーケース導入費、店舗内装工事費） 原材料費（新商品開発用原材料費） 広報費（名古屋FM広告掲載費） 外注費（ウェブサイト制作費）

認定経営革新等支援機関の名称：伊藤中央税理士事務所			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

事業承継補助金の制度説明、事業計画の立案、提出書類の添削や確認等のアドバイスをいただいた。

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	補助金を活用して制作したウェブサイト等を通じ、今後もより多くの方に当店の和菓子を知っていただけるようPR活動を続け、新たな商品開発に尽力する。
売上高 20 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
急死のためコメントなし。	二代目の急死により、事前の準備なく事業の承継することになりましたが、事業計画とそのための手段を明確にすることにより、順調に事業を進めることができました。相談機関、事業承継補助金事務局の支援により大きなトラブルなく、事業計画の達成のため、有効に補助金を活用させていただくことができました。事業の承継で新たな取組を考えている方は、事業承継補助金を是非検討されてみてはいかがでしょうか。